

# 平成23年第1回国東市議会定例会 一般質問予定表

第1日目 3月14日(月)

質問 順序	質問者 (議席番号)	質問事項	質問の要旨
1	宮永英次 (18番)	1. 市長の市政に対する基本姿勢、覚悟について	市の現状をどのように認識しているか。 政策に掲げた核になる「三つの柱」について、もう少し詳しい説明を。 高級市長車を廃止するとしているがどうするのか。 通勤はマイカーか。 市三役退職金カット、公約の根拠は。 「企業誘致対策室」「新産業創出課」を設置するとしているが、町づくりを考える市の「戦略室」ととらえてよいか。 副市長人事はどう考えているか。
		2. 市庁舎、消防本部建設について	市庁舎建設をどのように考えるか。 消防本部建設をどのように考えるか。
2	丸小野宣康 (15番)	1. 農林水産業の振興について	有害鳥獣対策について。 ・年間を通しての報奨金交付を ・鹿肉等の有効利用について ・ヒノキ等樹木の保護対策 ・駆除用具購入に対する支援は 椎茸生産の振興について。 ・原木供給対策(市有林の供給等) ・種駒への補助は ・鹿食害防止ネット(防風ネット)への補助は ジャンボタニシの駆除対策について。 カボス、オリーブ栽培の現況は。 営農指導(指導員・技術員)の充実。 作業環境の整備。 ・農道、林道、漁港背後地の舗装整備 水産振興について。
		2. 市庁舎について	消防本部の位置について、三者委員会等を開催し協議すべきでは。 (消防団、区長会、有識者等) 議会事務局は本庁に置くべきでは。
3	野田忠治 (14番)	1. 消防について	消防署の移転が計画されているが、今後の消防行政のビジョンは。 消防力の低下や人的不足が危惧されているが、その対応策は。また、市民病院で救急車を所有することやドクターカーの導入で人的不足を解消することはできないか。
		2. 向陽台、美濃辺地区の異臭問題について	昨年6月議会で質問したが、その後の経過及び今後の対応策は。 また、この問題に対する市長の考えは。
		3. 観光行政について	昨年12月の大分空港道路の無料化に加え、本年6月から日出、大分間の高速道路料金も無料になる。交通の利便性が向上するわけだが、今後の観光行政及び特産品等のPRや一次産業と直結した施策は考えているか。
4	伊牟田洋史 (9番)	1. 住宅用火災警報機の普及徹底について	住宅用火災警報機の設置期限が迫っているが、国東市内の何%ぐらいの住宅に普及しているか。 全国的な普及状況から見ると、大分県は九州でも低く、また国東市は大分県内でも下位の方になっているが、その原因は何か。 これから最終期限まで、どのような施策をとって普及徹底を図るのか。また、今どのような設置指導を行っているのか。 最終的な数値目標は何%と考えているのか。

## 平成23年第1回国東市議会定例会 一般質問予定表

第2日目 3月15日(火)

質問 順序	質問者 (議席番号)	質問事項	質問の要旨
1	清國仁士 (12番)	1. 「よみがえれ国東」重要課題は何か	市役所を強力な政策集団に変えるとは、機構改革をするのか。また、職員の士気の高揚法は。 トップセールスで国東市を売り込む方法は。 高級市長車の廃止はイメージチェンジなのか。
		2. 特別職の退職金のカットについて	退職金削減の根拠は何か。 削減は可能なのか。退職手当組合条例に抵触しないか。
		3. 観光開発について	新規観光拠点を作る考えはあるか。 各種イベントの充実方法は。 伝統文化の継承と行事を主体とした地域おこし。 海・山・里の良さ発掘。 宣伝・広告。 交流人口による商業の発展方法。 観光大使による宣伝。
2	明石和久 (13番)	1. 行政改革について	現在部制を導入しているが、課制に移行したほうがよいのではという意見や、近隣の市で課制に移行した例もある。今後、実行してはどうか。 市職員の定員は何人くらいが理想と考えるか。
		2. 交通体系の見直しについて	コミュニティバスの利用状況は、買い物と病院の利用が90%前後であり、路線によって利用者数に差異がある。バスが必要な路線とそうでない路線があり、根本的な改善が望まれると思うが。
3	秋國良二 (19番)	1. 選挙公約の「行政組織を簡素化、効率化し、総人件費を抑制するなど徹底した財政支出の抑制に努めます」について	市長の具体的な方策、ロードマップについて これまでの4年間の正職員数、臨時職員数及び退職者数の推移はどうなっているか。 本市では、部制ではなく課制のほうが行動にスピードが出ると思うがどうか。 住宅手当、時間外手当、職員互助会、給料の状況はどうなっているか。 市長は退職金のカットについて公約しているが、給料カットには言及していない。市職員・議員はカットしているが、どのように考えるか。
		2. 「現場主義・対話主義」について	現場主義・対話主義をどのように実行に移すのか。 地域駐在職員制度を検討してはどうか。
		3. 市民・高齢者・少子化の活性化対策について	地域活性化策としてスポーツ振興が有効である。市、消防、教育委員会等の採用でスポーツ枠を設けてはどうか。 空家対策、高齢者対策として、空家を活用して市民交流のサロンを作ってはどうか。 少子化対策として、次のようなことが考えられるがどうか。 ・出産祝金の第1子・2子を廃止し、第3子以降への多産を奨励する ・市外から転入し、市内に住宅を新築した人への補助 等
4	松本剛弘 (1番)	1. 水産振興について	漁業の現状をどう考えるか。 今後、加工・流通・販売(6次産業)について、どういった取り組みをする考えがあるか。
		2. 観光振興について	観光振興をするために、職員数を増やす考えはないか。